

人間ドック・脳ドック・骨密度検診の費用を助成

☎国保年金課 ☎・☎(582)1120 FAX(582)1138

◆事前申請制(済生会守山市民病院限定)

☑下記のすべてを満たす人

- ・受診日現在、満40～74歳の人
- ・助成申請日時点で、守山市国保に1年以上継続して加入している人
- ・国保税の滞納世帯でないこと
- ・申請日現在、入院をしていない人
- ・令和4年度の特定健診を受けていない人(人間ドックの助成を受ける場合のみ)

助成金額など

項目		健診料	助成金額	窓口負担額
人間ドック	バリウム	41,800円	20,000円	21,800円
	胃カメラ	45,650円		25,650円
脳ドック		34,100円	15,000円	19,100円
人間ドック・脳ドックセット	バリウム	60,500円	30,000円	30,500円
	胃カメラ	64,350円		34,350円

※オプション検査(乳がん検診など)を追加した場合など、検査内容によっては窓口負担額が変わります。

助成申請

済生会守山市民病院で受診予約をしてから、国保証を持って国保年金課で申請の手続きをしてください。後日、助成決定通知を送付します。受診当日は、通知と国保証を持って検査を受けてください。

※特定健診受診券の発送(5月中旬)以降に人間ドックの助成を申請する場合は、特定健診受診券もあわせて持参してください(脳ドックのみ受診する場合は不要)。

- ☑受け付けは令和5年3月末までですが、利用状況により、早期に受付を終了する場合があります。
- ・令和5年3月末までに受診してください(検査内容によっては希望日に予約が取りにくい場合があるため、早めの予約をお勧めします)。
 - ・検査内容、予約状況は、済生会守山市民病院へ直接お問い合わせください。

☎済生会守山市民病院 ☎(582)5155 FAX(598)1255

◆事後申請制(受診医療機関を問いません)

☑下記のすべてを満たす人

- ・受診日現在、満40～74歳の人
- ・受診日現在、守山市国保に加入している人
- ・国保税の滞納世帯でないこと
- ・令和4年度の特定健診を受けていない人(人間ドックの助成を受ける場合のみ)

助成金額

検診費用の半額(1,000円未満切り捨て)

※助成の上限は、人間ドックは20,000円、脳ドックは15,000円、人間ドック・脳ドックセットは30,000円

助成申請

医療機関で検査を受診後、検査結果のすべて(写しでも可)、領収書(原本)、助成金の振込先口座が分かるもの、国保証を持って国保年金課で申請の手続きをしてください。後日助成決定通知を送付し、申し出口座へ助成金額を振り込みます。

※特定健診受診券の発送(5月中旬)以降に人間ドックの助成を申請する場合は、特定健診受診券もあわせて持参してください(脳ドックのみ受診する場合は不要)。

- ☑令和4年4月以降受診分が対象です。
- ・令和5年3月末までに上記書類をそろえて申請してください。
 - ・人間ドックと脳ドックを別日程または別々の医療機関で受診した場合は、すべての検診結果をそろえて、一度にまとめて申請をしてください。
 - ・検査内容、予約状況は、受診する医療機関へ直接お問い合わせください。

◆骨密度検診 ～事前申請による済生会守山市民病院での受診限定～

☑下記のすべてを満たす人

- ・受診日現在、守山市国保に加入している満30～74歳の女性
- ・国保税の滞納世帯でないこと
- ・申請日現在、入院をしていない人

助成金額 3,000円(窓口負担額4,062円)

☑令和5年3月末までに済生会守山市民病院で受診予約をしてから、国保証を持って国保年金課で申請の手続きをしてください(利用状況により早期に受付を終了する場合があります)。

注意事項

- ・助成は年1回です。同じ年度内に事前申請と事後申請の両方の助成制度を利用することはできません。
- ・人間ドックの助成と特定健診は、同じ年度内に両方を利用することはできません。
- ・受診日に守山市国保の加入者でなくなったときは、助成できません。
- ・検査結果に基づき、保健指導や検査後の受診状況についてアンケートを行うことがあります。
- ・守山市国保以外の医療保険の加入者は、加入先の保険者に確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、検査項目が中止または変更となる可能性があります。